

西多摩医師会報

創立

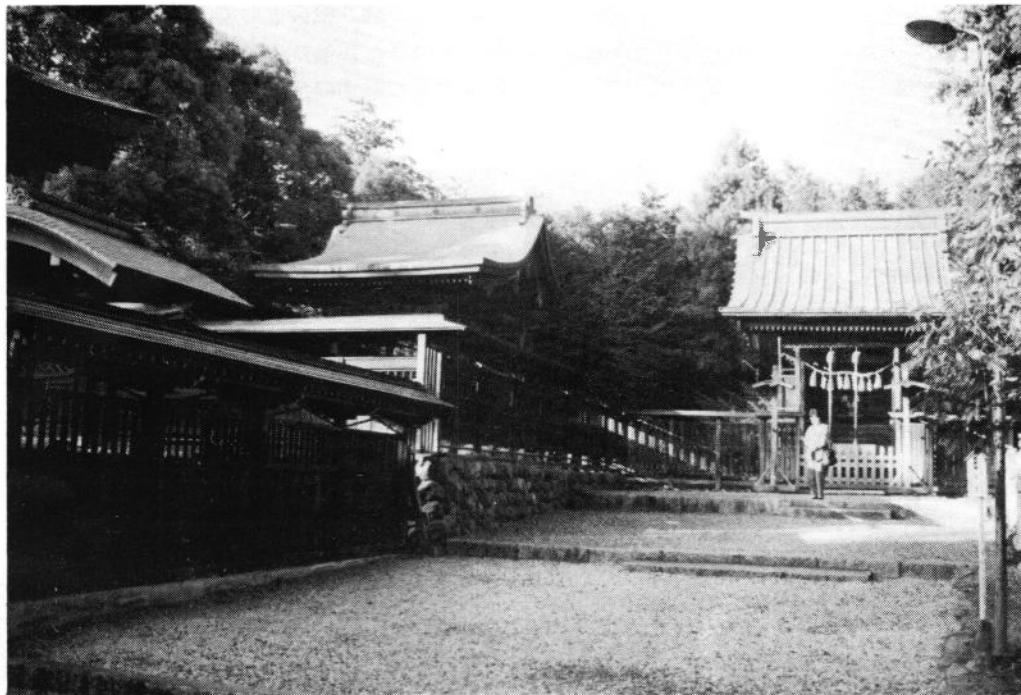
80

周年

創刊 昭和47年7月

第242号 平成5年2月

同好医会発足100周年



『出雲伊波比神社』 波田野洋夫

目

次

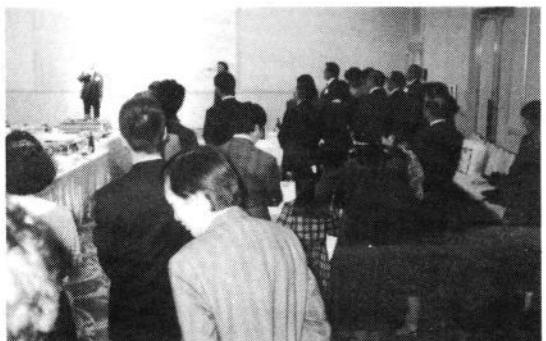
頁

1. 西多摩医師会クリスマス会	『大和路に古代を想う 第一部』
広報部 … 2	近藤 肇 … 10
2. 理事会報告	6. 地区だより
広報部 … 3	福生地区 休日診療所忘年研修会
3. 会員通知・医師会の動き	広報部 … 15
事務局 … 4	
4. 学術	7. 同好会短信
「夫立ち会い分娩」の導入について	平成4年度西医ゴルフコンペ
青梅総合 永田有紀ほか … 5	広報部 … 15
5. 文芸随筆その他諸事百般	8. お知らせ ……………… 16
旅行記『マンジャーレ』	9. 表紙のことば 波田野洋夫 … 18
堤 次雄 … 5	10. あとがき 玉木一弘 … 18
雑記『西多摩医師会館設立』	
山田正哉 … 7	

西多摩医師会クリスマス会開催

西多摩医師会クリスマス会が平成4年12月21日夜サンコープラザホテルにて開催された。近年西多摩医師会としては、忘年会は特に開催せず、新年賀詞交歓会のみを年末年始の主行事としてきたが、同会が対外的意味合いが強いことから、会員相互の親睦、地区と医師会とのコミュニケーションの機会として、またB会員、家族、従業員の方々を含めた慰労や懇親の機会として、さらには若手新入会員の方々の本会への積極的参加を願う機会として、試行されたものである。幸い会員、家族、従業員の方々合せて74名（子供さん10名）の多数の参加を得、ビンゴゲームや子供さんへのプレゼント、プレスリーのものまね歌手の余興等を織り混ぜ、楽しい年末の一時となった。

（広報部）



理事会報告★ *Information*

12月定例理事会

平成4年12月22日

移動理事会【魚双】

【1】 報告事項

(1) 都医地区医師会長協議会報告 (4.12.18)

(松原会長)

1. 都医からの伝達

(1) 社会保険診療報酬に関する事業税・非課税措置存続運動について

多摩地区会長連名で行う予定。当医師会より石川要三代議士に請願予定。

(2) 医療廃棄物の処理について (前号既報)

感染性廃棄物処理（血液付着）注意。医療機関ごとに特別管理産業廃棄物管理責任者の選任を要す。

(3) 看護職員確保対策について

1) 都立看護専門学校建設計画について

第三次東京都長期計画に基き、多摩市（多摩センター駅徒歩10分）に建設、平成7年開校予定。定員 120名。

2) 産休看護職代替経費補助制度について

200床以下の私立病院で産休代替職員を臨時に採用した時、賃金の1／2を都が補助。看護婦離職を防止。

3) 看護業務改善研究費補助事業について

国保、社会福祉法人、民法34条の規定による法人の医療機関を対象。看護業務改善の為の研究調査を補助。200万限度。

4) 準看護婦募集に係るポスター配布について

(4) 地域保健医療計画作成指針の変更について

(5) 東京都非常勤産業医活動実績について

(6) 医事紛争事件概況について

インフォームドコンセントに係るトラブル増加がある。

(7) 新宿保健所におけるエイズ抗体検査体制について

(2) その他

●西多摩医師会クリスマス会報告

(石田理事)

12月21日、サンコーブラザホテルにて会員、職員、会員家族74名出席し、盛会にて無事終了す。

【2】 協議事項

—— フリートーキング ——

●80周年記念誌について

広報委員会を中心に具体案を検討してゆく。

会員通知

- 特殊疾病（難病）患者の治療及び生活指導の手引
- " 診断手引
- 平成4年度第2回成人病検診従事者講習会（胃がん）の実施について
- 特別区市町村並びに国民健康保険組合被保険者証の更新等について
- 組合管掌健保被保険者証の更新について
- 会報
- ポスター（STOP. AIDS）
- " （医療関係機関の皆様へ）
- 第5回日本保育園医協議会総会の開催について
- 学術講演会通知
- "

医師会の動き

医療機関数	175	病院	28
		診療所	147
会員数	347	A会員	168
		B会員	179

会議

- 1月12日 保健所との懇談会
- 13日 自治体首長代表との昼食会
- 18日 総務会
- " 会報委員会
- 19日 80周年記念準備委員会
- 23日 新年賀詞交歓会
- 26日 理事会

講演会・その他

- 1月7日 整備会
- 13日 法律相談

28日 学術講演会（医師会後援）
演題：高齢者の呼吸器感染症について

講師：東京都多摩老人医療センター 呼吸器科
医長 村井容子先生

役員出張

- 1月16日 東京都柔道接骨師会新年会
- 21日 都医公衆衛生委員会
- 22日 都医地区会長会
- 23日 八王子市医師会厚生大臣表彰祝賀会
- 25日 福生保健所地域連絡協議会

学術

〔夫立ち会い分娩〕の導入について

青梅市立総合病院西3病棟

永田 有紀	萩野 友子	荒武 照世	本間 和美
大石 時子	西山 祐子	水谷扶美恵	伊藤 露子

第240号平成4年12月号16頁に掲載させていただいた〔両親学級を試行してみて〕の原稿は平成3年秋に発表したものであったが、院内外の希望が強く当科でも〔夫立ち会い分娩〕に取り組むことになり、その後の状況を続報としてお届けしたい。

平成4年6月より、従来の両親学級を夫立ち会い分娩を目的として内容を変更し、陣痛室と分娩室の改装を行った。平成4年6月から12月までの両親学級受講数は85組で、その内立ち会い分娩を実施できた夫婦は7月から12月までに31組であった。

立ち会い分娩の主な希望動機は、
出産の瞬間を夫婦で共有したい。
不安と苦痛を2人で乗り越えたい。

ビデオなどで見て感激した。自分たちも体験したい。

子育てを協力していきたいから、誕生の時から一緒に頑張りたい。

現在は始まったばかりで、医師・助産婦共皆が緊張の連続だが、実際にわが子の誕生を涙して喜んでいる夫婦に出会い、微力ではあるが夫の立ち会い分娩に取り組んでよかったですと思うこの頃である。設備など十分とはいえないがマスコミなどの影響も大きく、立ち会いを希望する夫婦が増えている現在、さらに個々の希望に添える出産体験への援助が出来れば幸いである。

尚、現在、研究段階であるため詳細は追って発表させていただきたい。

文芸随筆その他諸事百般

マンジャーレ

堤 次雄

昨年の夏に短い日数だったが、イタリヤ北部に旅をした。

「マンジャーレ。カンターレ。アモーレ。」(食べて。歌って。恋をして。)はイタリヤ人の気質をよく表現しているという。

真夏の青い空の下、道行く人達の服装は、やや派手に見えたし、ここの人達の気質は、やはり陽性だろう、と思った。

わたしで言うと、カンターレは調子っぱずれになって、ダメ。アモーレはとっくに手の届かぬ所に去っていった。残るは只一つ、マ

ンジャーレだけとは、ちと淋しく残念でもある。旅行案内書に曰く。食べ物は、あさり入りスパゲティは日本人に人気が高い。生ハムは本場だけあって美味。とあった。

イタリヤは周りを、リグリア海、ティレニア海、アドリア海、などに囲まれ新鮮な海の幸が豊富である。魚好きのわたしには有難かった。

わたし達の朝食は大てい街のバール(スナック)ですました。朝のバールの客は殆どサラリーマンである。立ち喰いの人もあり中々の

繁盛ぶりで、日本の都市駅構内で見るスナックの慌ただしい風景と少しも変わらない。

昼食は少し格を上げて、トラットリア（軽食堂）でとった。あさり入りスペゲティ。生ハムのメロン添え。野菜サラダ。それにビールが加わり、毎日あきもせざ殆ど同じメニューをこなした。スペゲティの麺は、ほどよい固さに茹でられ、あさりの味が滲みこんでいて旨い。生ハムの旨さは日本のものとは確かに違う。冷えたメロンと生ハムは相性がよくて実際に美味。高級な店のものがメロンも大きいし余計うまいと思った。

店によっては、わたしには塩分が少し勝ち過ぎと思うものもあったが、素材がよいせいいか味はしっかりしていて当りはずれはなかった。

旅の終り頃には、昼食だけはイタリヤ語で註文できるようになった。

例の生ハムとあさりを註文し、あとにピッラ、グランデ（ビールの大）。妻を指さしてピッコロ。（小さいの）とたったそれだけ言うのだから自慢にもならない。

夜の食事はグレードを上げ、レストランでとることにした。

ホテルのフロントで、「安くてうまい海鮮料理店を」と頼むとホテル内にレストランがあっても別に嫌な顔もせず教えてくれた。

時にはミシェランのガイドブックを頼りに探し歩くこともあった。

ミラーノではミシェランの二ツ星のレストランに行ったが、小じんまりした雰囲気のいい店だった。ここでも前菜は例の生ハムメロンを頼み、メインに舌びらめ。野菜サラダ、デザート、ワインと註文、中々のものである。タキシードのウエイターが来てワインの栓をぬき臭いを嗅いで少しグラスについた。

わたしはワインを口の中に含み、この道の通のような顔をして、フムフム、と領きながら、「結構な味である」と言う。タキシードが愛嬌笑いをして、瓶をワインクーラーに入れて去った。わたしが早速に飲もうと瓶に手をかけたら、タキシードが小走りで戻ってきて、「ア、ア、お客様、ちょっと待って下さい。あと二分待つと丁度よい旨さになるんですから」（多分、こう言ったのであろう。

と推察）と言った。「そうなの、すまん」とわたしは手を引っこめたが、嫌な気分になった。

「オレのワインである。何んで他人の指図をうけんといかんのよ。我が家じゃ、いつも手酌でやっとるんだ」と少々頭にきた。

後で知ったが、タキシードが居る少し高級な店では仕来りがあるようで、客はガツガツせず、ゆっくり構えて酌を待つ度量がいるものらしい。知らぬわたしが田舎者である。

うまい料理の味はわたしの怒りを忘れさせてくれたが、どうしたことか野菜サラダを持ってこなかった。勘定書にはサラダの分も入っていたのを妻が見つけてウエイターに「これ違うじゃない」と言った。マスターが来て笑顔で「サラダの分は引いておきました」と訂正した勘定書をくれたが、「すみません」の言葉はなく、別に恐縮する風でもないのである。旅行案内書にまた曰く。店での買い物の釣り銭や、銀行ですら両替の時に少なく渡すことがあるから、要注意、とあった。

お国柄なのであろう。

次の夜はホテルで教えてくれたレストランに行つたが、この店はミシェランには載っていないかった。わたし達のテーブルにタキシードのマスターが来て、「ウニ、タコ、イカ、エビ、スズキ」と日本語で言ってキッコー萬醤油の一合瓶を置いた。多分、在住の日本人がよく利用する店なのだろう。

わたしは、あさりのワイン蒸し、エビフライを註文。妻は貝や海老が入ったリゾット（雑炊）を頼んだ。「いか墨が入った方がおいしいですよ」とウエイターが薦めていたが、「真黒いのはどうも」と断わった。

蝶ネクタイがよく似合うウエイターの青年は、マスターと顔や体つきがよく似ていたので「兄弟か」と聞いた。「あれはパパ。会計がママ。僕は長男です」と答えた。

彼と少し雑談したが「ミラーノは税金は高いし、物価もイタリヤ一番に高く商売もやり難くて困りますよ」とぼやいていた。

店のマダムは特に美人とはいえないが、あんな大きな息子が居るとは、とても思えないほど若く見えた。マダムは話し方や、物腰がと

てもエレガントだし、店もアットホームに感じ、すっかり気に入って二度食べに行った。

帰る時、マダムと記念写真をとったが、彼女はわたしの肩に優しく手を置いた。わたしも彼女の腰に手を廻したが、彼女の脚がわたしのより長くて、わたしの手は彼女の腰ではなく、ヒップをしっかりと押えていた。わが心、なにやら落ちつかず、そうっと手をおろす。「また、どうぞお出下さい」とマダム、妻が「亭主は医者で忙しいから、明日は帰ります」と言った。厨房から声あり。「オオ、ジャポネーゼ、メディコ、プラプラ……、アリベデルチ」（ドクター、また食べに来て下さいよ、では、お元気で、さいなら、と多分言つただろう）と二男坊が笑顔をだした。

わたしは食べ物には保守的で、未知のものを探究する気持はない。「うまいな」と思えばそればっかり食する単細胞の男である。

わたしが食べた料理は、生ハムの他はみな魚介類ばかりで、料理の種類も片寄り、イタリア料理について語る資格はないのだが、言えるのは素材の新鮮さと、シンプルな味つけであろう。わたしは充分に満足した。

特にベニスのトラットリアの屋外テーブルで、そよ吹く浜風を肌に感じながら食べた料理は忘れられない。

にんにく味がよく効いたあさりのワイン蒸し、と大皿に盛られたオリーブ油で揚げたての海老と小魚のフライに、レモン汁をふりかけ、手酌でワインを一杯やりながらパクツクのは野趣もあり最高だった。

今でもこれを思い出すと、よだれが出てきそうである。

マンジヤーレは楽しい。生きている喜びである。



マダムと

雑 記

西多摩医師会館設立

山 田 正 哉

西多摩医師会の前身同好医会は、総会は青梅町西分坂上樓に於て必ず開催されてたことは先きに述べた如くであるが、明治45年3月2日に開催された西多摩郡医師会発足第1回総会は当時の青梅郡役所で開催されて来た。爾後大正、昭和の時代でも会館を持たぬ医師会は夫々公的機関を借りて総会を開催して來た。

然しながら医師会事務所は、創立当時は大河原医院（大河原周氏宅）に、その後昭和12年には青梅町勝沼大越眼科医院（都立農林高

校の近くで後に田中外科〔故田中実先生〕、次いで福島産婦人科医院となり現在は駐車場）に、保険事務所は青梅町笹本医院（笹本隆夫氏宅）に、昭和15年3月再び医師会事務所を大河原医院に移転し、昭和17年3月青梅町青梅の鈴木眼科（故鈴木達三先生宅）に医師会事務所を移転すると共に、保険事務所も同時に移転して鈴木医院に併設し、従来の笹本医院方の保険事務所を廃止した。

昭和17年秋鈴木達三先生応召により事務所を青梅町青梅の近藤医院（近藤肇氏宅）に移

転し、近藤肇先生の奥様と当時青梅保健所に勤務していた三田達夫氏（三田哲夫氏父）によって医師会の事務運営がなされていた。昭和20年8月第2次世界大戦が終息すると共に昭和21年6月より一時的に西多摩郡医師会事務所を東京都立青梅保健所内に設置したが、昭和22年12月12日社団法人西多摩医師会が設立され新役員選出に伴い、西多摩医師会事務所を青梅町勝沼200 三枝欣二郎方（現三枝進氏宅）に移転したが、昭和26年1月4日三枝医院火災により焼失した為、事務所を青梅市勝沼2丁目194 羽村源一氏方に移転して会館建設まで続き、羽村源一氏が事務長となって事務を遂行していた。

一応事務所が出来上り役員会などを開催して来たものの余りにも手狭で会員が一同に会して各講習会や総会を開催せんとする時は、会場を保健所、その他公共機関を借りねばならぬ状態であり、一方会員の増加も手伝って会館設立の声が出て、各候補地をさがし求めて“帶に短し擲に長し”で適当な場所が見つからぬ儘に数年が経過したが、昭和32年3月27日の総会に於て青梅市西分に医師会館建設地を求めるに決定した。

昭和32年4月医師会館建設委員会が設立され種々協議を重ね昭和32年12月27日都庁より西多摩医師会館建設の許可があり、昭和33年1月8日土地登記が完了した。愈本格的建設事業に入り昭和33年3月定期総会に於て医師会館建設委員長を宗像教親氏（福生病院初代院長、現在国立市に開業）に変更し、宗像先生のお力添えにて会館建築設計を久米建築事務所永井賢城氏に依頼、建設委員会で検討審議した結果設計図の承認を得たので、資金調達に関する臨時総会を昭和33年5月31日に開催し、西多摩医師会館建設寄附金に関して討議した。

その結果会員に配布された寄附金調達の趣意書の全文を以下に掲載してみよう。

趣 意 書

拝啓新緑さわやかな折からいっそりお健やかのことと存じます。

さて、西多摩医師会は会務の遂行上本日迄非常な苦難と闘って参りました。即ち事務所を持たなかった時代には今はなき先輩各位の住宅を提供していただいたりして会員廻り持ちの様な状態が久しく続いたものでした。それが数年前から狭隘ではありますがやっと専属の事務所を持つことが出来種々の会議や事務をとる様になりました。然し乍ら全会員が一同に会して各種の講習を受けるとか或は会議を開くと云う様な場合には止むを得ず会場を他に求めねばならぬ現状であることは会員各位の不便であるばかりでなく各官庁、保険団体、他の医師会等も御迷惑であると推察される次第です。

一方会員数は近年に至って急激に増加して医師会事務保険関係事務等も倍加して参りました。かくして我々会員は我々の手で何とか西多摩医師会館を建設しようと熱望したのであります。先立つものは建設資金であるとして永年に亘って百二十万円を貯蓄し青梅市に土地の買収も致しました。而して33年3月の本総会に於て決定されました如く本会会員並に関係者、一般篤志家の御寄附をあほぎ更に老百五十万円を醸出して本年中に新築する念願で御座います。

各位には夫々諸事御多用の折から恐縮でありますか左記の次第により募金いたすことになりましたのでこの際会員全部の方々並に一人でも多く有志の方々にお志を寄せて戴きたくお願ひ致す次第であります。

既に会館建設委員の手に依って設計図の腹案も出来上りて居り資金の準備が整いましたら着工出来る状態となりましたので勝手ではありますか一日も早く御承諾下さる様願ひ上げます。

敬 具

昭和33年5月 日

社団法人西多摩医師会

会長 山 田 正 禮 印

記

一. 一口金額 三千円以上いくらでも

- 二. 送金先 青梅市勝沼町2丁目 194番地
西多摩医師会事務所内
西多摩医師会長 山田正禮
- 三. 送金方法 なるべく埼玉銀行を御利用下さい。保険診療報酬の口座より御支払下さる方が相方便利です。
- 四. 締切期日 昭和33年8月14日
- 五. 分割払 御希望により3回迄の分割払を致します。

昭和33年7月22日に久米設計事務所の設計による西多摩医師会館建築の入札を10社によって施行し、青梅市荒井組が落札、その結果同年7月25日建設敷地に於て地鎮祭を挙行し、会館新築工事契約書を取交し、8月25日上棟式、同年10月末に完成した。

医師会館建築完了に伴い昭和33年11月10日医師会事務所を羽村源一氏宅より移転し、同年11月16日西多摩医師会館新築落成式を挙行して現在地に初めて医師会館が完成したが、その後何回となく改築増築して現在の会館となつた。

昭和34年3月19日西多摩医師会館所有保存登記が完了して名実共に我々の手で完成させた医師会館が出現した。

今では会員に発送する文書は医師会で草稿し印刷出来る状態であるが、羽村氏宅に事務所があり医師会館に移転してから原田広吉事務長が就職するまでは、専ら都からの文書は北多摩医師会事務所が印刷したものを持って配布したことを探る人は数少なくなってしまった。

現在の医師会敷地は莫大なものだがこの入手に関しては後日記載して行くが、医師会館建設には幾多の先輩の苦労があることを忘れてはならないことを銘記して欲しい。

医師会館の移転問題が時々論議されるが、場所が不便だとか、色々の事を云う人があるが夫々の理由はあるにしても、現在の財産は一朝一旦で出来たものではなく、明治、大正、昭和の戦中時代に会員であった諸先輩が無から有にすべく大きな努力と会員の団結とによって得た尊い物であることを深く反省して熟慮

すべき時である。

現在医師会館は無人で警備会社と連絡され不慮の侵入に備えているが、以前は会館設立当時から引揚げ者だった藤田フジエさん（山口県出身）が日本間の裏の小部屋に留守居役として住込んでいて、医師会館の清掃、会議の折の茶菓の準備、或るは理事会、総会後日本間で寛ぐ折などには、自分用に漬けた美味しいお新香や珍しい物を茶請けとして出してくれ何となく心暖まる雰囲気があったが、瀬戸岡会長の時その理由は詳らかでないが藤田サンが辞めて留守番役が廃止されて現在の状態になった。

藤田サンが居た頃は、理事会後は日本間に大部分の人が集まり世間話などに花を咲せると必ず彼女が心尽しの物を出してくれた。私などよく夏の理事会の時など“おばちゃんビールを冷して置いて”と依頼すると冗談がらみに“先生、もっと大きい冷蔵庫を買ってくれないとビールを沢山冷し切れないよ”と云われた。その後大きな冷蔵庫を買ったのは勿論だが、今日本間の廊下に鎮座する冷蔵庫がそれであろう。

その藤田フジエさんが引揚げ時の模様を「北鮮宮坪収容所から奇跡の生還、鉄道員未亡人一家のたたかいの記録」として出版したが、この地獄よりの生還物語の読後感を会員の川崎健一郎氏が会報80号紙上に述べている。

現在私は医師会館の日本間にいると、其処にかつて在ったあの温もりの人と人の関係がなくなつて、多くの先輩が築いてくれた物が時代の推移とは云へ医師会から遠去つて行き冷やかな空気を感じ物淋しい気がする。



大和路に古代を想う

第一部 豪族とヤマト政権

近藤肇

§ 1 飛鳥以前を想う

昔は今よりも 100メートル以上海の面が低かった。日本海は湖であったし、大陸とは簡単に行き来ができた。ベーリング海も水位が低かったから陸続きで、シベリア方面、日本からアメリカ大陸へ渡ってゆけた。それがアメリカインディアンであり、南米のインディオである。日本人のルーツは、東南アジア方面からのと、中国江南地方からのと、朝鮮半島からのと、シベリアからのとの、4 方面からやって来た。

考古学的研究によると、20万年くらい前には、日本には現代の「新人」段階の前の「旧人」が住んでいた。

人間の生活は、古代からの狩猟採集、漁猟から、縄文時代の末期には焼き畑による農耕文化があった。そして、紀元前後にまたがる 600年の弥生時代に、東南アジアから中国江南地方、朝鮮半島を経たイネが伝わってきて、稻作文化の時代となった。この頃の生活文化は、静岡の登呂遺跡の発掘によって明らかにされた。農耕稻作文化の時代となると、私有財産制が強くなり、人間の社会には、階級が生まれた。そして「ムラ」と「ムラ」の対立、「ムラ」が集団化し、ムラの連合、多数の連合集団ができ、集団を統合した豪族が各地に生まれ、豪族によって各地に小国家、国家連合が生まれた。

世界史的に見て、普通、農耕社会から階級社会が生まれるまで数千年を要しているが、日本の場合、階級社会に移行するのにわずか数百年に過ぎなかつたことは、文化人類学的に見て特筆すべきことである。

§ 2 ヤマタイ(邪馬台)国からヤマト政権へ

各地に大小の豪族の支配地域ができ、いくつかの国家連合が生まれ、やがて、3世紀に

は国家らしきヤマタイ国が生まれ、「卑弥呼（ひみこ）」と呼ばれた巫女（ふじょ）が女王として君臨し、中国の魏との交流があったことが、中国の、「魏史」の「倭人伝」に詳しく記録されている。

邪馬台国が、どこにあったか、九州か畿内か、未だどちらともいえないでいるが、多くの豪族達の勢力争いの結果、ヤマト地方の豪族が地方の豪族達を支配下に治めるに至り、そこにヤマト政権が生まれた。朝鮮半島の百濟（くだら）との交流の記録はその頃からで、朝鮮半島南部の百濟や新羅（しらぎ）との争いもあり、また人間の交流も多かった。渡来人としての、百濟の人々による日本の文化の発展が見られた。儒教や漢書なども当然伝えられた。

ヤマト政権という時代のなかで、天皇の始祖は、豪族の勝利者であった。

史料として、日本書紀や古事記、中国史書などがあるが、初期の天皇の歴史は明確でない。

この頃、中国の皇帝は日本を臣下とみなしていた。中国側の記録によると、女王「卑弥呼」のあとも、ヤマト政権の5人の王が中国へ使者を送り、「貢ぎもの」を献上し、称号を求めたとある。「倭の五王」とは一体誰か。

ヤマト政権の歴史は、豪族間の対立抗争と天皇の皇位継承をめぐる争いの歴史であった。豪族の主なものとして、当初は葛城（かつらぎ）氏、それから平群（へぐり）氏、そして大伴、物部、蘇我時代へと移った。

§ 3 仏教の伝来

欽明天皇の時、正式に百濟から聖明王が仏像や經典を伝えて仏教の信仰を奨めたのが、日本書紀によると 552年ということになる。このとき、仏教を受け入れるか否かで、物部



明日香村 この辺はきれいに公園化されている。



高松塚古墳

ほかの豪族と蘇我が対立し、蘇我氏が勝利し、以後蘇我氏の時代となった。

仏教の伝来が 552年（欽明天皇13年）で、「元興寺縁起（がんこうじえんぎ）」などの記録では 538年（欽明天皇 7年）となっており、現在 538年が定説となっているが、実際には、中国や朝鮮半島から儒教や漢書、易や暦や医の書とともに文化の交流の中で仏教は伝わっていた。

ここで、538年説と 552年説を検討すると、欽明天皇 7年と欽明天皇13年で、その差 6年というのはおかしい。ここでも、繼体天皇の子の3人の安閑・宣化・欽明が異母であり、対立抗争や二つの朝廷があったとの推定がなされもしている。

なお、『元興寺』は、奈良の猿沢の池の少し南の静かな町の中にある。

§ 4 世継ぎの争い

欽明天皇の子女で、天皇となったのは、皇子の、敏達（びたつ）、用明、崇峻（すしゅん）と、最初の女帝である推古である。天皇の子とか皇子と書かれても、皇后との間の子ばかりなく、何人の夫人からの異母兄弟、異母姉妹が多いから、血縁関係の理解が困難である。天皇の子供どうし親子の争いがあり、それは世継ぎに関する権力闘争であるのだが、異母兄弟姉妹間や、天皇の何人かのお妃即ち、一号夫人から何号かの夫人の間の

争いである。これに、貴族、豪族がからんで殺しあいとなる。

飛鳥の古代を訪ねた旅は、人間のむごたらしい権力抗争の歴史の回顧であり、悲しい叙情詩となってしまう。

§ 5 蘇我馬子の独裁

欽明天皇の後半は、蘇我稻目（いなめ）の独裁体制であった。そして、欽明天皇の後、その子の敏達、用明天皇となると、蘇我稻目の子の馬子（うまこ）の独裁となった。用明天皇の死によって豪族間の内乱抗争が起こった。片や物部守屋が用明天皇とは異母兄弟の穴穂部（あなほべ）皇子を立てようとし、蘇我の馬子は穴穂部皇子と同母である弟の泊瀬部（はつせべ）皇子を立てようとし、結果は蘇我の馬子の勝利となり、物部守屋と穴穂部皇子は無惨にも殺されてしまった。蘇我の馬子は泊瀬部皇子を崇峻天皇とした。蘇我馬子は独裁をほしいままとして、その勢いは天皇を凌ぎ目に余るものがあった。崇峻天皇は、憂慮してその勢力を抑えようとした。それに気づいた蘇我馬子は崇峻天皇を殺害してしまった。蘇我馬子は、敏達天皇の皇后であって宮廷内で信望の厚かった額田部皇女（ぬかたべのきみ）を天皇とした。これが推古天皇である。推古天皇は欽明天皇の息女であるが、母は蘇我馬子の父稻目の娘であるから、馬子とはイトコである。

§ 6 橋寺と飛鳥寺と石舞台古墳

聖徳太子は父が用明天皇であるから推古天皇のオイである。聖徳太子は蘇我馬子と協力して30年の永きにわたって国政を担当したが、622年推古天皇31年に死去した。『橋寺』という寺がある。この辺りは聖徳太子の祖父欽明天皇・父用明天皇の離宮があったとされる。そして、聖徳太子誕生の地とされている。

馬子は626年に、推古は628年に死した。蘇我馬子は、仏教を信仰したので、崇峻天皇の時代に、日本最初のお寺として、蘇我氏の氏寺とする『飛鳥寺』を作った。

この飛鳥寺は元興寺とも安居院（あんごい

ん）とも呼ばれているが、平城遷都で奈良に移ったが、「元興寺縁起」による仏教伝来538年説のことは、この寺である。

飛鳥は、聖徳太子と馬子によって作られた仏教文化発祥の地である。

馬子は渡来人を厚遇し自分の周囲に集めて勉強をしていたらしい。

飛鳥寺は、今の建物は昔のものとは違うが、飛鳥寺の名で現在残っている。飛鳥大仏として有名になっている像があり、それは釈迦如来像で、推古天皇14年に安置されたとされている。高さ2.75メートル止利仏師の作、奈良の大仏より151年古くできたという。



橋寺



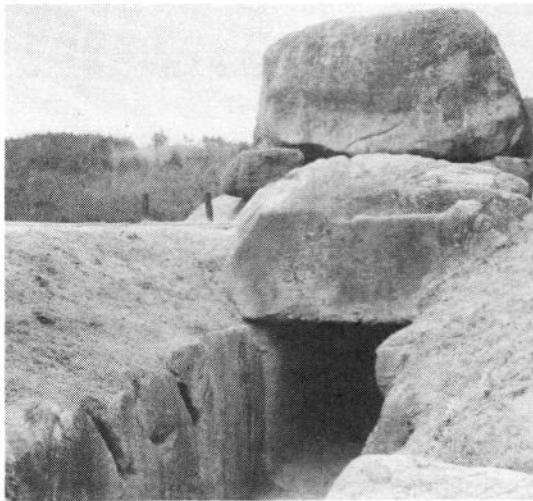
聖徳太子創建七カ寺のひとつ



飛鳥寺



飛鳥大仏釈迦如來像 奈良の大仏より151年古い。



石舞台古墳

『石舞台古墳』といいうのがある。昭和8年に発掘され、花崗岩30数個75トンを超す石室で、古代の素晴らしい土木事業を偲ばせるものがある。確認はされていないが馬子の墓ではないかと思われている。その辺の豪族の墓である事には間違いない。

§ 7 推古天皇は、なぜ天皇になったか

崇峻天皇は泊瀬部皇子時代に、兄の穴穂部皇子とともに馬子と対立している物部守屋に同調していたときもあったし、蘇我氏とは姻戚関係も結ばなかった。そういうこともあって、崇峻天皇は蘇我馬子の横暴を見かねて何とかしなくてはと思った。ところが、蘇我馬子の感ずくところとなり、崇峻天皇は殺されてしまった。そこで、敏達天皇の皇后であって信望の厚かった額田部皇女が推古天皇となり、オイの聖徳太子を摂政として政治を行うこととなった。蘇我馬子は帰化人を配下としていて、強力な武力をを持つ豪族であり、ご機嫌を損じないようにしなければならなかった。

こういう世であったから、推古天皇は、崇峻天皇を殺した蘇我馬子と協力せざるをえなかつた。推古天皇は好んで即位したのではなかつたようである。崇峻天皇の殺された後の皇位継承者は他にあった。自分と敏達天皇との間に生まれた竹田皇子がいたし、用明天皇の子には厩戸皇子（聖徳太子）がいた。しかし、こういう時代をどう切り抜けてゆくかを



上には大きな盛土があった
円形古墳だったか方形だったか？

考えた。自分は、母が馬子の父稻目の娘であり馬子とはイトコである。竹田皇子にも厩戸皇子にも苦労させたくないかったし、不安も多かったであろう。それで、自分が天皇となつた。馬子とうまくやっていかなければならない、むずかしい世の中であったのを、聖徳太子がうまくやつていったのは、聖徳太子の卓抜した才能のためであったのであろう。

女帝第1号の背景はこのように考えられる。

§ 8 蘇我氏の終焉

馬子が死んだ後も、子の蝦夷（えみし）、その子の入鹿（いるか）は、ますます、権勢をほしいままにした。馬子の子蝦夷は敏達天皇の孫を天皇とし（舒明天皇）、舒明天皇の死後は皇后を帝位に就かせた（皇極天皇）。これは、人望ある聖徳太子の皇子たる山背大兄皇子（やましろのおおえのおうじ）を天皇にさせたくなかった蝦夷と入鹿父子の画策であった。

入鹿の専横には目に余るものがあり、皇室を無視し自分が帝王のような振舞をなした。そして、独裁、専横の邪魔になる山背大兄皇子を、643年皇極天皇2年に、王一族がいた斑鳩宮（いかるがのみや）を襲い、全滅させてしまった。

蝦夷と入鹿父子の横暴に手を焼いて、皇極天皇の皇子中大兄皇子（なかのおおえのおうじ）を中心に、中臣鎌足・蘇我の倉山田石川

麻呂らによって、殺害の計画が進められた。

645年6月12日、皇極天皇の飛鳥の皇居の『板蓋宮』（いたぶきのみや）で、朝鮮三国の使者が天皇に上奏する儀式が行われるその機をとらえて入鹿を殺害し、父蝦夷を私邸に攻めて自殺させ蘇我氏本家を滅ぼした。

『甘樫丘（あまかしのおか）』というのがある。蘇我の蝦夷・入鹿が邸宅を構えていて兵器庫を有し城となし、百濟からきた渡来人の親衛隊をおいていた。板蓋宮で中大兄皇子らによって入鹿が殺害された時には、甘樫丘の蝦夷が抵抗したが百濟からきた渡来人の親衛隊は戦意なく降伏してしまった。

この甘樫丘は、今は公園となっていて、藤原宮址や大和三山が良く見える展望が良い丘

である。

なお、「入鹿の首塚」が入鹿の供養として飛鳥寺の隣地にある。

§ 9 山田寺の「仏頭」

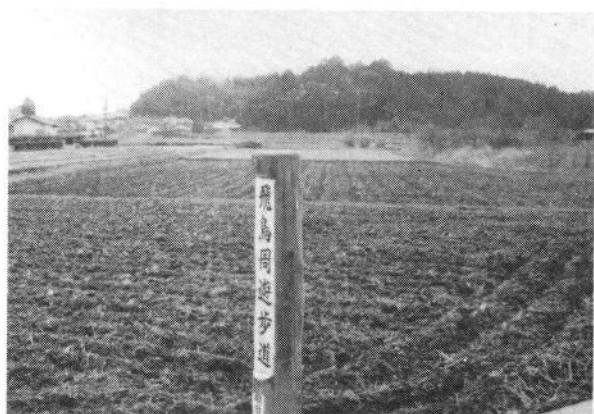
このあと、皇極天皇退き弟の考徳天皇を天皇とした。そして中大兄皇子（なかのおおえのおうじ）を中心に、中臣鎌足・蘇我の倉山田石川麻呂らによって、646年改新の詔を発した。これが、大化の革新である。「今よりのち、君に2政なく、臣に2朝なし」とし、天皇の絶対制を宣言し、年号を大化元年（645年、皇極天皇4年）とした。なお、中臣鎌足は669年その死に臨んで、功績により、藤原の氏を与えられた。



板蓋宮址 ここで蘇我入鹿が殺害された。



入鹿の首塚

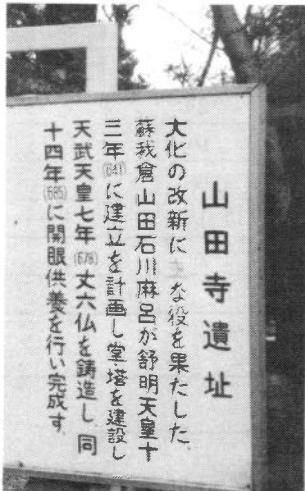


向こうの丘が蘇我氏の甘樫丘

改革をすすめるため心機一転を図ったのであろう。京を難波長柄豊崎宮（なにわのながらのとよさきのみや）に移した。

新政策を断行したが、大化の革新の立役者中大兄皇子は、大化の革新の盟友蘇我の倉山田石川麻呂を、中傷誤解により謀反という無実の罪により殺してしまった。

のちに、疑い晴れて中大兄皇子が、この地に塔を建て、天武天皇が丈六仏を造立した。



山田寺址



1300有余年の歴史 何を語らん。

じいさんばあさんが、ゲートボールしている。

地区だより

福生地区

福生市休日診療所忘年研修会

福生市休日診療所忘年研修会が、12月16日、開業間も無い、ホテル福生国際会館にて、行われた。助役以下、行政関係者、休日診療所職員の方々多数の参加を得て休日診療所事業報告、懇親、意見交歓が行われ、盛会となつた。

(広報部 玉木)

同好会短信

堤 先生 優勝!!

平成4年度西多摩医師会ゴルフコンペ

平成4年度西多摩医師会ゴルフコンペが平成4年12月20日狭山ゴルフクラブに於いて行なわれました。コンペは南、西コースの18ホールでストロークプレイで13名が参加し、快晴、微風のすばらしいコンディションの中で行なわれました。片平先生が急患の為、プレー途中で帰るハプニングはありましたが、他の参加者全員が楽しくプレーすることができました。

コンペ終了後の表彰式及びパーティーが行なわれ、その席で、平成5年度の西多摩医師会ゴルフコンペは、馬詰、高水が監事となり、

ところが、のちに、平家の焼き打ちにあった興福寺の増兵に強奪されて像を奈良にもってこられて、のちに、興福寺の地下から丈六仏の頭だけ発見されて、それが最古の仏像「山田寺の仏頭」として、興福寺の宝物館に陳列されている。

この地には、石川麻呂の山田寺があったが、現在は『山田寺址』の遺跡があるだけである。

次回のコンペは6月の第1日曜日に行なう事が話合われました。できれば一泊旅行を兼ね

て行ないたいと思いますので、多数の参加者を希望します。
(広報部 高水)

	南コース	西コース	グロス	ハンデ	ネット	順位	次回ハンデ
堤	4 9	4 7	9 6	2 0	7 6	1	1 6
高 水	4 3	3 8	8 1	5	7 6	2	4
宮 川	4 5	4 3	8 8	1 0	7 8	3	9
大 嶽(栄)	4 6	4 5	9 1	1 2	7 9	4	
馬 詰	4 5	5 0	9 5	1 6	7 9	5	
宇 田	4 9	4 3	9 2	1 1	8 1	6	
内 山	4 7	5 1	9 8	1 6	8 2	7	
波 田 野	4 8	5 2	1 0 0	1 6	8 4	8	
杉 本	5 4	5 1	1 0 5	2 0	8 5	9	
大 嶽(繁)	5 6	5 4	1 1 0	2 5	8 5	1 0	
稻 垣	5 4	5 9	1 1 3	2 5	8 8	1 1	
立 花	5 8	5 2	1 1 0	1 8	9 2	1 2	
片 平	N	R					

お 知 ら せ

3月（2月診療分）の
保険請求書類提出日
3月8日（月）
—— 正午迄です。 ——

法 律 相 談

西多摩医師会顧問弁護士 鈴木禧八先生による法律相談を
毎月第2水曜日午後2時より実施しておりますのでお気軽に
ご相談下さい。

- ◎ 相談日 2月は10日（水）
3月は10日（水）の予定です。
- ◎ 場 所 西多摩医師会館和室
- ◎ 内 容 医療、土地、金銭貸借、親族、相続問題等民事、
刑事に関するどのようなものでも結構です。
- ◎ 相談料 無 料（但し相談を超える場合は別途）
- ◎ 申込方法 事前に医師会事務局迄お申込み願います。
(注) 先生の都合で相談日を変更することもあります。

事務連絡

平成 5 年 1 月 16 日
西多摩医師会事務局

お知らせ

平成 5 年度（平成 5 年 4 月～同 6 年 3 月）各月の保険請求書類提出日は下記のとおりです。

平成 5 年度診療報酬請求書 提出日一覧表

平成 5 年

4 月提出日（3 月診療分）	4 月 8 日（木）正午迄
5 月提出日（4 月診療分）	5 月 8 日（土）正午迄
6 月提出日（5 月診療分）	6 月 8 日（火）正午迄
7 月提出日（6 月診療分）	7 月 8 日（木）正午迄
8 月提出日（7 月診療分）	8 月 9 日（月）正午迄
9 月提出日（8 月診療分）	9 月 8 日（水）正午迄
10 月提出日（9 月診療分）	10 月 7 日（木）正午迄
11 月提出日（10 月診療分）	11 月 8 日（月）正午迄
12 月提出日（11 月診療分）	12 月 7 日（火）正午迄

平成 6 年

1 月提出日（12 月診療分）	1 月 8 日（土）正午迄
2 月提出日（1 月診療分）	2 月 8 日（火）正午迄
3 月提出日（2 月診療分）	3 月 8 日（火）正午迄

- (注) 1. 社保支払基金及び国保連合会が土曜日週休のため10月は 7 日となりますのでお間違えのないようご留意願います。
(12月は年末のため 7 日となります。)
2. 整備委員会は同日午後開催いたします。

表紙のことば

『出雲伊波比神社』

埼玉県毛呂山町岩井にある所謂、出雲神話に登場する大名牛遲神と天穗日命の二柱が主祭神で、創祀は景行天皇53年（123年）に倭建命創設、本殿は大永8年（1528年）再建で埼玉県下最古の神社建築である。毎年十一月三日には930年の歴史をもつ古式流鏑馬が行われる。西多摩よりは近い処にあり出雲大社の直系分社である。

波田野洋夫

○○○ 原稿募集 ○○○

表紙の絵画・写真、御意見、文芸、
随筆、諸事百般…………投稿自由

毎月15日〆切

事務局又は広報委員まで

あとがき

46歳のクリントン大統領の就任演説を聴きながら書いています。「新しいアメリカの再生を、ともに手を携え、痛み（犠牲）を分かち合いながら成し遂げよう」と述べています。かつてケネディが「国が何をしてくれるかではなく、国に対して何が出来るかを問い合わせよう」と述べたこととの類似をマスコミが指摘しています。時代こそ違ながら、個に流されず、アメリカという夢に集うことを喚起する若き指導者に一時代を託す、アメリカのチャレンジを敬意をもって見守りたいと想います。自國に目を移せば、国のためにという言葉に、悪しき全体主義を連想し、つい逃げ腰になる戦後後遺症を引きずりながら、国としてのアイデンティティーを議論せぬまま、スキャンダルや党利党略の感情論の明暮れに食傷気味の昨今、もう一度、理想という夢を捨てずに、皆で成すべき共通点を見出だし、個も大切にして、一からやり直したい気持ちです。まずは医師会という私に与えられた場を逃げずにがんばってみたいと想います。いっそうのご指導をお願いいたします。

玉木一弘



社団法人 西多摩医師会

平成5年2月1日発行

会長 松原貞一 〒198 東京都青梅市西分3-103 TEL 0428(23)2171・FAX 0428(24)1615

会報編集委員会 明田川修生

天野了一 石井好明 片平潤一 小机敏昭 辻田茂夫

瀬戸岡俊一郎 高水松夫 玉木一弘 道又正達 山川淳二

印刷所 マスダ印刷 TEL 0428(22)3047・FAX 0428(22)9993

健康の輝きをひろげる。



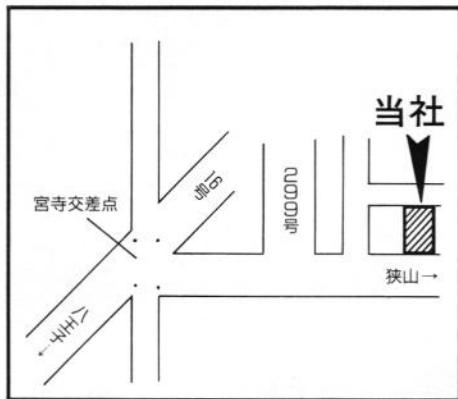
株式会社 ビー・エム・エル

本社・〒166 東京都杉並区高円寺東1-34-5 TEL 03-3316-0111(大代表)

北谷研究所・〒360 埼玉県川越市北谷1361-1 TEL 0492-32-0111(代)

健康と未来をみつめて!!

医療機関における各種検査、学校、事業所の検診
御利用の際は御連絡下さい



埼玉県登録衛生検査所

武藏臨床検査所

所長 杉 田 富 德

埼玉県入間市上藤沢 309-8

TEL 0429 (64) 2621

FAX 0429 (64) 6659

自然のめぐみを最先端の技術で活かす——ツムラ漢方製剤エキス顆粒(医療用)128品目+3品目



ツムラは、ツムラ漢方製剤エキス顆粒
(医療用)128品目+3品目により、
高齢化社会の深まりつつある現実の
治療に貢献しつつ、
漢方製剤の科学的な実証を通じて、
21世紀に至る長寿社会の治療手段と
しての役割をはたしていきたいと
願っております。



東京都千代田区二番町12-7 〒102

最新のテクノロジーが計測します
そして、人の眼と心が記録します



臨床検査のパイオニア

保健科学研究所

本 社 〒240 横浜市保土ヶ谷区神戸町106 TEL/045-333-1661(大代表)

仙 台 実 社 〒983 宮城県仙台市青葉区裏町1-3-5 TEL/022-236-9345(大代表)